



新学期を迎えるにあたって②

「習熟の達人になろう」

これから君たちはいろいろなことを身につけなければいけない。たとえば、英語を話せるようになる、入試で高得点が取れるようになる、サッカーがうまくできるようになる、友人や部活の先輩、周囲の大人といい人間関係がつけられるようにする、などなど。これらのことは、ちよいちよいとやればすぐに身につくものでもない。まあ、定期テストぐらいなら一夜漬けでもそこそこ点数をとることはできるかもしれないが、入試ぐらいの範囲が広いテストになると歯が立たなくなるだろう。ところが、練習や実践を重ねることで、始めはできなかったことが次第に簡単で楽しいものに変わっていく。これが習熟ということだ。習熟すると意識しなくてもできるようになり、圧倒的な力がつく。そのためには我慢強さや忍耐力が必要だが、是非習熟の達人を目指してほしい。人間にはとんでもない力が秘められているのだから。

一番高みまで伸びるそうだ。逆にすぐできる人は壁にぶつかると諦める人が多く、伸びきらずに終わることが多いそうだ。自分は物覚えが悪いと思っている人は、諦めずにやり続けよう。すぐできると思っている人は、奢ることなくやり続けよう。数年後には、想像以上の成果が出ているぞ。



「なりたいたい自分をみつけよう」

君たちは将来どんな自分になりたいだろう。「こんな人になりたい」とはっきり言える人は少ないかもしれない。でも、なりたいたい人がはっきりしている方が毎日に張りができる。どうやって「なりたいたい人」を見つければいいだろうか。よくあるのは、先輩に憧れることだ。「あの先輩カッコイイ」ので、先輩の持ち物を真似たり、練習の仕方を実似たりする。それはそれでいいことだ。ただ、身の回りにいる人の数は限られる。野球で言えば先輩に憧れるよりは、イチローや大谷に憧れた方が大きく伸びる可能性が高くなるだろう。だから、「なりたいたい人」を身近にいる人以外から見つけられれば、大きく伸びる可能性も高くなる。そのためには、本を読もう。特に伝記物を読もう。世の中にはとんでもないことを成し遂げた人がいる。努力次第では、そうした人に近づくことができるのだ。(大場)

教科書、今昔

全国の小学校で二〇二〇年度から使われる教科書の検定結果が三月二十六日に公表されました。新たな学習指導要領に対応し、全教科にアクティブ・ラーニングが盛り込まれ、ページ数

全体は一割増となります。教科書の総ページ数(九教科×六年間)は、一九九八年度四千ページ台だったものが、四年ごとの検定の度に増えて、今回八千ページを超えることとなります。ここに、初めて教科化される英語教科書(小五・小六)も加わります。最近、教科書が厚くなりすぎて「重くて背負えない」との声を聞きますが、今後さらに悲鳴が増えそうです。

もつとも、昔と変わったのは厚みだけではありません。現在小・中学校で使われている教科書は、写真やイラストが豊富に使われ、カラー化もされて、ビジュアル面では格段に見やすくなっています。今回の検定では、ほとんどの教科書がQRコードを通じ動画なども見られるようになるため、小学校でのタブレット学習が加速しそうです。

では、肝心の中身はどうなっているのでしょうか? 現在算数では、以前は四年生で学習していた「分数」が二年生から、同じく四年生単元だった「小数」が三年生から……と、学習メニューが下の学年においてきていますが、次の教科書では中学内容だったデータの調べ方などの「統計教育」が六年生に求められるようになります。また、必修化される「プログラミング教育」が、算数・理科に盛り込まれます。

英語では、大学入試改革で「読む・書く・聞く・話す」の四技能が問われるようになる、という話をご存知の方が多くでしょうが、小五からの教科化に伴い単語量も、中学卒業千二百語程度↓千六百〜千八百語程度、高校卒業千八百語程度↓千八百〜二千五百語程度と強化されることとなります。つまり、従来高校卒業までに

マスターするのが目標とされるようになる訳です。

このように質・量ともに大幅に変わってきている教科書。お子様に「勉強しなさい!」と怒鳴る前に、ぜひ一度今の教科書をのぞいてみてください。大人にとって新たな発見となることも多く、たとえば中学校の理科・社会の教科書では、保護者の方が習った「昔前の常識」が大きく書き改められているのに驚くのではないのでしょうか。理科では、富士山は「休火山」ではなく「活火山」に(休火山・死火山はすでに死語)、冥王星は「惑星」ではなく「太陽系外縁天体」に(セレスなどと同じ準惑星に降格)、藻類は植物ではなく「原生動物」に(生物は動物・植物・菌・原生動物・原核生物の五分類に……)。歴史では、新たな発見により最古の人類は「アウストラロピテクス」ではなく「サヘラントロプス・チャデンシス」に、最古の貨幣は「同開珎」ではなく「富本銭」に。また、近年の研究成果に基づき、「土農工商」という身分制度はなかった(農工商は対等)、「鎖国」ではなく四つの交易窓口があった(長崎の他、対馬・朝鮮、薩摩・琉球、松前・アイヌ)、と書き改められています。



休日親子と一緒に教科書をのぞいてみるのもいいかもしれません。お父様、お母様の驚きや興奮が子供たちの好奇心の引き金となることもあるのではないのでしょうか。(片岡)

勉強を知らない子供達⑥

●十一月号の続きです。四ヶ月空いたので、前

回の最後の部分を再掲します。

●さて、ここから長文を含めた総合問題に入るのだが、今度は次の困難が待っている。例をあげよう。The rumor/proved/false. (某参考書より) この文の訳は、こうなっている。

「そのうわさは結局うそだった。」これを理解するとはどういうことか。まず、日本語訳が分かったので理解したとする生徒が多いが、これでは伸びない。次に、誠実に悩む生徒がいる。「結局」はどれだろう。「うそ」はどれかな? 自分では答がでない。これが、二〜三行の英文となると、その訳を読んでも謎は深まるばかり。名著といわれる受験用の参考書はたくさんあるが、その全ては、この誠実な生徒達に応えてはいない。そして、「恵まれた一部の生徒」のみが正しい理解に(無意識に) 独力でたどりつく。彼らはこう理解する。①「その噂は」②「くだと分かった」③「偽り(の)誤り(の)」と訳せて「その噂は偽りだと分かった」となり、それを解答は日本語らしく「そのうわさは結局うそだった。」と訳してあるのだ。

●世の中の過去問、問題集参考書は、ほぼ全て、最後の生徒を対象に作られている。何故か? どうすればいいのか?

●まず理由から。過去問・問題集・参考書を書く人は、恵まれた一部の生徒だった人達であり、まさかこんなレベルで悩む子が大半だとは思っていないこと。また、①「その噂は」②「くだと分かった。」③「偽り(の)、誤り(の)」と書いて「その噂は誤りだと分かった。」とまとめ、さらに「その噂は結局うそだった。」と日本語らしくしたものまで書けば、本の厚さが倍になってしまうこと。さらに、実際にその問題集をし

っかりやりこむのは、このような作業が脳の中で自動的にできる生徒だけであること。こういう事情があるのだ。

●では、どうすればいいのか? 教える人が、こういう背景を分かっているならば、授業の中で全ての生徒を導いていけるのだが、残念ながら、現実にはそうならない。おそらく、九十九%の教師が、自分の体験やちよつとしたアドバイスをなどをもとに授業を展開していて、「恵まれた一部の生徒」のみが伸びていくことになる。一方、創学舎に来ていてる高校生は、こちらの指示通りに英文を読む練習を重ねていくと伸びていく。そして、高校三年生になると英語を受けている生徒の大半は、学校での英語の授業を聞かなくなる。教科書をみたら、すぐ訳せるからである。訳せるのだから、教師の細かい説明をきく必要がないのである。その代わりに、どうするか? それはふせておく。

●生徒に何をやらせるかという点、五行十行くらいの英文を四十個。授業で、徹底的に構造を分析して、直訳をし、授業後毎日、音読と、訳す練習と、暗記の練習をくり返してもらおうだけである。「音読しろよ。」「復習しろよ。」という指示はほとんどの教師がいうだろう。創学舎では、四十個の英文を最終的に一年間で音読四十回、訳四十回、暗記四十回を目標にしてやってもらおう。できればそれぞれ六十回になるくらいやってもらおうのが理想。こういうことを通して全ての生徒を「恵まれた一部の生徒」のレベルまでもっていきたい。そうしないと、問題集や過去問をやっても意味がない、効果がないということになってしまう。(以下次号) (小林)

祝 2019 合格実績 ~合格おめでとう!!~

中学受験		高校受験				高校受験			
公立中高一貫校		公立高校				私立高校			
東葛飾中	6名	東葛飾高	8名	成田国際高	1名	早大高等学院	1名	麗澤	10名
私立中学		薬園台高	1名	松戸国際高	8名	芝浦工大柏	6名	江戸川女子	1名
芝浦工大柏中	1名	小金高	13名	柏中央高	7名	専修大松戸	23名	土浦日大	33名
東洋大牛久中	1名	県立柏高	17名	柏の葉高	8名	江戸川学園取手	4名	流通経済大柏	45名
		幕張総合高	1名	市立習志野高	1名	開智	2名	東洋大牛久	42名
		鎌ヶ谷高	4名	我孫子高	18名	成田	2名	駒込	6名
		柏南高	24名	他多数		春日部共栄	5名	他多数	

大学受験				大学受験			
国公立大学・国立大学校				私立大学			
筑波大	1名	茨城大	1名	早稲田大	5名	成城大	7名
千葉大	3名	防衛大学校	1名	明治大	5名	明治学院大	4名
埼玉大	2名	長野県立大	1名	立教大	6名	成蹊大	3名
東京学芸大	1名	公立鳥取環境大	1名	中央大	1名	東京農業大	4名
				法政大	9名	日本女子大	3名
				学習院大	2名	國學院大	1名
				東京女子医科大	1名	北里大	1名
				芝浦工業大	4名	他多数	

